

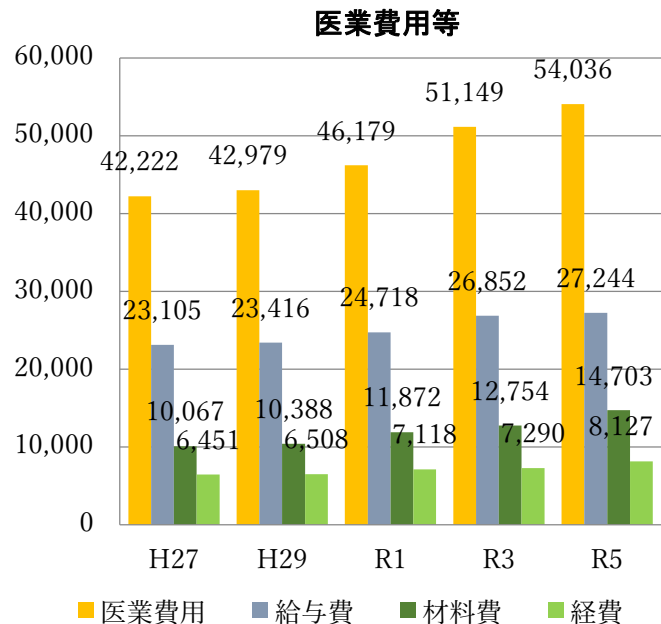
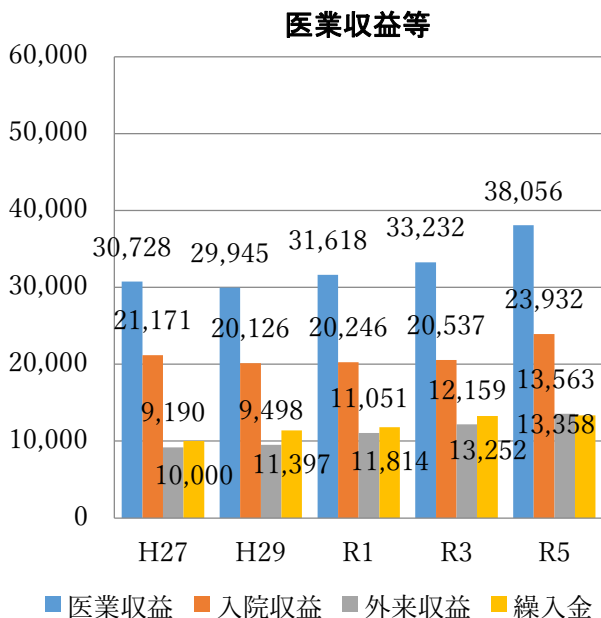
(参考)

千葉県立病院経営強化プラン（令和7年度～令和10年度）の要点

1 経営状況の分析

(1) 医業収支の悪化

長期的に見ると、医業収益の伸び以上に医業費用が増え、医業収支は悪化しており、厳しい経営状況が続いている。



(2) 入院患者数の減少

医業収益の大部分を占める入院収益において、患者平均単価は大幅に伸びる一方、延入院患者数は伸び悩んでいる。



2 経営改善に向けた取組

経営強化プランでは、従来の改革プラン以上に、集患対策を中心とする収益増、費用節減に努め、早期の収支改善を図る。

(1) 経営改善方針

○ 収益確保

- ・入院患者数の増加による収益確保

単価増について取り組む一方、集患対策（関係医療機関からの紹介・逆紹介や転院連携の強化）による入院患者数増、医業収益増を図る。

- ・収支構造の改善

原価計算システムを活用し、患者が多いにも関わらず利益率が悪い疾患を把握し、診療計画（クリニカルパス）の見直しなどにより、在院日数が長すぎる疾患について改善を図る。

○ 経費削減

- ・固定経費の節減（委託費を中心とした費用削減）

➢ 予算編成時から契約までの期間の粘り強い価格交渉

➢ 仕様の見直し（競争性の確保）

- ・材料費（医薬品・診療材料）の節減

➢ 共同購入の推進

➢ ベンチマークを活用した価格交渉の継続

➢ 調達方法の見直し（入札方法、アウトソーシングの活用等）

○ 継続的な経営改善

- ・上記の取組を病院で継続的に実施できるよう外部人材の活用等を検討
- ・PDCA サイクルを徹底し、経営改善を図る。

(2) 経営（収支）黒字化に向けた将来推計（目標）

経営強化プラン最終年度（令和10年度）には、以下のとおり経営指標の改善を図るとともに、プラン2期終了時（令和14年度）での収支黒字化を目指す。

【将来目標】

【収益的収支】	令和5年度	令和10年度
総収益	55,932 百万円	64,967 百万円
うち医業収益	38,056 百万円	46,804 百万円
うち一般会計繰入金	13,358 百万円	14,438 百万円
総費用	59,570 百万円	68,241 百万円
うち給与費	27,244 百万円	30,448 百万円
うち減価償却費	3,337 百万円	4,721 百万円
純利益	▲3,638 百万円	▲3,274 百万円
延入院患者数	284,033 人	301,979 人
病床稼働率	69.9%	74.5%

(3) その他

- 保健医療計画及び地域医療構想を踏まえた役割の明確化、機能分化・連携強化

➢ これまで担ってきた各県立病院の果たすべき役割・機能について、今後4年間も引き続き担っていくとともに、機能分化・連携強化を進めていくことについて記載

- 医師・看護師等の確保と働き方改革

➢ 医師・看護師等の確保、臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保、医師の働き方改革について、今後4年間の取組を記載

- 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組

➢ 県と締結している医療措置協定に基づく取組について記載

- 点検・評価

➢ 毎年度、決算を踏まえた点検・評価を行い、進捗管理を行います。